

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市の文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与するため、新型コロナウイルス感染拡大防止の状況に応じて変更、延期、中止などを判断しながら、できる限りの事業を実施した。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与した。

参加・体験事業
<p>(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 決算額 902,582円)</p> <p>子どものための文芸コンクール「書こう!きみの物語」 小中学生を対象に小説や児童文学などの文芸作品を公募し、入賞作品を名古屋を中心に活動する劇団員による朗読音声をつけてウェブサイトで公開した。 作品募集期間/2021年8月2日(月)~9月30日(木) 選考委員/奥山景布子、棚園正一、藤 真知子 応募件数/91件 入賞作品/15作品 朗読/劇団うりんこ、劇団そらのゆめ始め名古屋で活動する劇団の俳優15人</p>
<p>(2) 学生参加事業 (補助金事業 決算額 1,530,278円)</p> <p>NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2021 学生の文化芸術活動を応援するため、地元で活動する中高生ビッグバンドが多数出演する、ジャズを中心とした音楽イベントを開催した。 日程/2021年7月24日(土)【3部構成】 会場/公会堂 出演バンド数/名古屋市立若葉中学校始め12組398人 ゲスト出演/山崎貴大、安藤康平、BMK 入場者数/1,542人(入場者好評価率/93.7%)</p>
<p>(3) 子どもアートピア (補助金事業 決算額 5,887,831円)</p> <p>子ども向け・名古屋の魅力向上をテーマに令和3年度より3か年計画で実施。愛知芸術文化協会(ANET)との共催で、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップなど、子どもたちが参加・体験できる全17プログラムを行った。 日程/2021年12月18日(土)~19日(日) 会場/ナディアパーク、青少年文化センター 共催/愛知芸術文化協会(ANET)</p> <p>1 舞台公演 「名曲いっぱい♪親子でクラシック」(2回) 会場/青少年文化センター 入場者数/649人(入場者好評価率/85.5%) 出演/笥 真美子、木嶋真理佳、金原聡子 他 音楽監督/笥 聡子</p> <p>2 ワークショップ 「木のオブジェをつくろう!」始め8プログラム(8回) 会場/青少年文化センター 第1~3練習室、第1スタジオ 参加者数/112人(参加者好評価率/98.2%)</p> <p>3 パフォーマンスステージ 「三味線コンサート」始め8プログラム(8回) 会場/ナディアパーク アトリウム 入場者数/1,315人(入場者好評価率/97.2%) 〈全17プログラム〉入場者数計/2,076人(入場者好評価率/93.6%)</p>
<p>(4) みんなで育む子どもの未来フェスティバル (自主財源事業 決算額 3,206,976円) 【延期】</p> <p>地元の劇団等による子ども向け舞台公演やワークショップ、名城大学学生ボランティアによるアトラクション等を通じて、子どもたちが気軽に文化芸術に親しめるイベントを開催した。 日程/2022年3月5日(土)~6日(日) 会場/市民ギャラリー矢田、東図書館</p> <p>1 舞台公演「ともだちや」始め4公演(4回) 会場/第1展示室 入場者数/263人(入場者好評価率/95.8%) 出演/人形劇団むすび座、劇団風の子中部、プレジャーB、ラストラーダカンパニー</p> <p>2 体験事業(劇団等によるワークショップ、舞台美術や舞台衣裳を用いた記念撮影や名城大学学生ボランティアによるアトラクション) 「みんなで楽しく『演劇』やろう!」始め8プログラム(46回) 会場/第2~5展示室、東図書館集会室 参加者数/1,170人(参加者好評価率/92.1%) 〈全12プログラム〉入場者数計/1,433人(入場者好評価率/93.9%)</p>

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 〈実行委員会形式〉 (負担金事業 決算額 9,000,000円)

【変更】

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場)で開催する予定だったが、全公演を中止した。代替企画として、無観客で上演した収録作品をYouTube等で無料配信するとともに、名古屋市内の児童養護施設等にDVDを寄贈した。

なごや子どものための巡回劇場テイクアウト

上演作品数/7作品

出演/川口節子バレエ団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、人形劇団パン、名古屋オペラ協会
総合劇集団俳優館、セントラル愛知交響楽団、岩瀬よしのりとワンステップ

視聴回数/7,272回 DVD寄贈先/児童養護施設等17施設

(2) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 決算額 10,214,222円)

大中規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催した。

- 1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会
日程/2021年5月13日(木)〈1回〉 会場/日本特殊陶業市民会館フォレストホール
入場者数/681人(入場者好評価率81.2%)
- 2 人形浄瑠璃「文楽」
日程/2021年10月15日(金)〈2回〉 会場/芸術創造センター
入場者数/844人(入場者好評価率92.0%)
- 3 鬼太鼓座コンサート
日程/2022年1月7日(金)〈1回〉 会場/日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
入場者数/378人(入場者好評価率95.9%)

(3) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 決算額 1,330,957円) 【一部中止】

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供した。
7月～9月の5公演中1公演が中止された。

第1回	2021年 7月～ 9月	応募枚数4,224枚	当選枚数1,086枚	提供枚数	771枚
第2回	2021年11月～12月	応募枚数3,117枚	当選枚数1,166枚	提供枚数	963枚
第3回	2022年 2月～ 3月	応募枚数7,988枚	当選枚数 884枚	提供枚数	734枚
		計	15,329枚		3,136枚
					2,468枚

友の会事業 (自主財源事業 決算額 8,213,566円)

会員向けの落語会を行うとともに、催し物情報等を掲載した情報紙「友の会だより」を発行した。

- 1 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引
- 2 会員への情報提供事業
市内文化情報やイベント情報を毎月送付
- 3 会員を対象とする文化事業
春風亭小朝新春独演会
日程/2022年1月12日(水) 会場/日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
入場者数/582人(入場者好評価率/88.5%)

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与した。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 決算額 32,945,391円) 【一部中止】

名古屋市文化振興事業団2022年企画公演 オペレッタ「伯爵令嬢マリツア」

1920年代オペレッタ白銀の時代の傑作として名高いオペレッタ「伯爵令嬢マリツア」を制作・上演した。

日程/2022年2月18日(金)～19日(土)〈3回〉

※関係者に新型コロナウイルス陽性者が発生したため20日(日)の2公演は中止した。

会場/青少年文化センター

作曲/エメリッヒ・カールマン 脚本/ユリウス・ブラマー、アルフレート・グリュンヴァルト

音楽監督・指揮/井崎正浩 上演台本・訳詞・演出/恵川智美 振付/松村一葉

管弦楽/セントラル愛知交響楽団 オーディション応募者数/132人 出演者数/46人

入場者数/876人(入場者好評価率/90.5%)

企画公演のあゆみ「ポスター・写真展」

会期/2022年2月1日(火)～6日(日) 会場/市民ギャラリー栄

入場者数/146人(入場者好評価率/92.3%)

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2022

(補助金事業 決算額 2,559,413円)

企画者・美術家からアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て斬新な美術展を開催した。

1 美術展(応募30件から3企画を採択)

日程/2022年1月7日(金)～16日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

企画/第1展示室「巻藁船」中村綾花

第2～4展示室「宇宙は今時語るに及ばず」山科晃一

第5～7展示室「密室、風通しの良い窓、ぎこちないモンタージュ」宮崎竜成

入場者数/1,830人(入場者好評価率/75.4%)

2 次年度募集

次年度企画応募件数/18件 採択企画数/3件

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 決算額 979,298円)

マッピング DE シェイクスピア「テンペスト～The Tempest」

シェイクスピアの「テンペスト」を、地元の俳優、パフォーマーらによる舞踊、音楽などを織り交ぜ、地元の大学生が制作したプロジェクトマッピング映像、音楽などを用いて上演した。

日程/2021年10月22日(金)～24日(日)〈5回〉会場/青少年文化センター

構成・演出/齋藤敏明 振付/JUNKO 映像演出/鳥居一平(愛知工業大学教授)

音楽監督/小高直樹(大同大学教授)

出演/天野鎮雄、藤井奈緒美、高橋ナナ、岩田将臣、LONTO、Chang 他

入場者数/1,452人(入場者好評価率/84.9%)

(4) 名古屋市民芸術祭2021 (補助金事業 決算額 4,377,647円) 【一部変更】

総合的な芸術の祭典として、2021年10月～11月に名古屋市民芸術祭2021を開催した。なお、主催事業のうち「名古屋市民美術展」を中止し、代替企画として「鯉城学園優秀作品展」を開催した。

1 主催事業

①鯉城学園優秀作品展

日程/2021年10月19日(火)～24日(日) 会場/愛知芸術文化センター アートスペースX

入場者数/462人 出品者数/15人

②名古屋いけばな芸術展2021

日程/2021年10月26日(火)～10月31日(日) 会場/市民ギャラリー栄

入場者数/6,078人 出品者数/239人

入場者数計/6,540人(入場者好評価率/83.0%)

2 参加事業

参加公演 19公演 ※申込件数33件

受賞公演 市民芸術祭賞 該当なし

特別賞 5公演 ※授賞式はコロナ禍により中止。

【音楽】奨励賞/戸谷誠子ピアノリサイタル

オリジナルアンサンブル賞/VIOLOSSIMO! vol.6

【演劇】奨励賞/劇団うりんこ「わたしとわたし、ぼくとぼく」

【舞踊】風焰賞/加藤おりはyCompanyDANZAKスペイン舞踊公演「SOPLAR～いのちの風焰～」

【伝統芸能】チャレンジ賞/登龍亭獅鉄 らくご芝居「新・中村仲蔵」

入場者数計/7,696人

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭〈実行委員会形式〉(負担金事業 決算額 5,999,421円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」(2021年10月23日(土)～11月14日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台 温故知新～未来へつなぐ変わらぬ願い～」の3公演を実施した。

- 1 照明能「菊慈童 遊舞之楽」 狂言「金津地藏」
日程／2021年11月3日(水・祝)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂
入場者数／274人
 - 2 極上ナゴヤカブキ3 BENTEN the KID—御存知弁天小僧白波事始—
日程／2021年11月6日(土)～7日(日)〈4回〉 会場／中村文化小劇場
入場者数／553人
 - 3 尾張の太鼓 “for the future”
日程／2021年11月13日(土)〈1回〉 会場／青少年文化センター
入場者数／310人
- 入場者数計／1,137人(入場者好評価率94.7%)

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉
(負担金事業 決算額 1,193,502円) 【一部開催】

ライセンスを持つパフォーマーが、地下鉄駅や商業施設などの登録会場でパフォーマンスを行う事業だが、全ての活動を中止した。再開に向けた試行実施を計画するほか、新規ライセンスを発行するためパフォーマーを公募し、事前予約制による公開オーディションを実施した。

新規ライセンス発行

一次審査(書類、映像・音源審査) 2021年7月8日(木) 応募数41組から19組を選考
二次審査(公開オーディション) 2021年8月19日(木)～20日(金) 19組から16組を選考
入場者数／107人(入場者好評価率／73.4%)
認定パフォーマー数／146組(130組は前年度から無条件で更新)
登録会場／メイカースピア、今池ガスビル、名古屋城など市内19施設

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 決算額 8,386,336円)

- 1 イベント開催支援
イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出した。
受託件数／揚輝荘企画事業はじめ6件
- 2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営
事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムの運営、各種事業の案内など、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを事業団本部内で運営した。
販売枚数／20,970枚
- 3 文化芸術に関する相談窓口
各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドで運営した。
相談件数／278件

(8) 芸術創造賞 (自主財源事業 決算額 1,226,507円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後も活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第37回芸術創造賞を授与した。
受賞者／鹿島俊裕<伝統芸能(狂言)>、Chang(兵藤禎晃)<演劇(道化)>
授賞式／2021年10月7日(木)

(9) Nagoya チラシデザイン大賞 (自主財源事業 決算額 475,591円)

市内で開催される公演や美術展の広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示した。

募集期間/2021年4月～2022年1月

応募件数/93件

受賞作品/大賞: ヨコヤマ茂未/岩田和也「R. O. D. S. 癡王のテラス」

入賞: occi「劇団翔航群 覆面公演 VOLUME09」、佐藤ちひろ「MINIMAL/CONCEPTUAL」

渡部剛己「Gulliver -不安の島-」

佳作: 3件

作品展示/2022年3月8日(火)～13日(日) 会場/市民ギャラリー矢田 第7展示室

入場者数/174人 (入場者好評価率87.5%)

2022年3月16日(水)～ 会場/文化情報ひろば(ナディアパーク7階)

(10) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 決算額 443,501円)

名古屋女性演劇賞の授与

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった女性演劇関係者に名古屋女性演劇賞を授与した。

受賞者/花植厚美<照明デザイナー>

授賞式/2022年3月22日(火)

(11) 文化芸術関係者・団体活動支援事業 (自主財源事業 決算額 9,623,253円)

1 応援ソング制作・配信事業

令和2年度に制作した応援ソング「きみのあした」を活用し、コロナ禍で特に活動に制約を受ける合唱の分野を応援するため合唱版楽譜を制作。市内の小・中学校や合唱団体等に提供し、合唱の動画作品を公募した。また、市内の高等学校合唱部と藤田麻衣子が共演するミュージックビデオを制作してウェブサイトで配信した。

編曲・歌唱/藤田麻衣子

出演/愛知県高等学校文化連盟合唱専門部に所属する市立高等学校6校(80人)、藤田麻衣子

熊谷真里、BMK 計87人

視聴回数/34,625回

合唱版楽譜提供先/市内小・中・高校、愛知県合唱連盟所属団体等

2 公募短編小説ウェブサイト発信事業「NAGOYAヴォイシーノベルズ・キャビネット」

令和2年度に開設したウェブ投稿の専用ステーションサイトを運用し、視聴者に元気や勇気、感動を与えられる短編小説を募集して配信した。作品には朗読による音声をつけ、視覚障がい者の方、聴覚障がい者の方など市民誰もが楽しめるコンテンツとして提供した。

作品/1,600字程度の自作未発表作品

審査委員/いとう菜のは、江草三四朗、大矢博子、奥山景布子、刈馬カオス、小出朝生

はせひろいち、堀田あけみ、山本直子

募集・配信期間/2021年4月～2022年3月

採択件数/65件(応募件数/227件)

朗読/劇座、劇団あおきりみかん、宇宙空地を始め名古屋で活動する劇団の俳優65人

視聴回数/66,392回

(12) 事業団アートマネージャー・ステップアップ事業 (自主財源事業 決算額 1,914,569円)

ピアソラ生誕100周年記念企画「宮田大×大萩康司デュオ・リサイタル」

事業団アートマネージャーが部署を越えて文化芸術イベントを企画制作する事業。今回は世界的に活躍するアーティストによるコンサートを開催した。名古屋市身体障害者福祉連合会の協力により、障がい者アテンド研修を実施し、視覚障がい者を招待した。

日程/2022年2月23日(水・祝)(2回) 会場/熱田文化小劇場

アテンド研修受講者数/45人 視覚障がい者等招待者数/60人

入場者数/327人(入場者好評価率/96.4%)

(13) 文芸による名古屋の魅力推進事業〈実行委員会形式〉（負担金事業 決算額 400,000円）

コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編文芸作品を広く募集し、優秀作品に賞を授与するとともにウェブサイトで公開した。あわせて、選考委員がオンライン上で受賞作品の講評や文芸の魅力語る関連イベント「コトノハなごやサロン-online」を開催した。

作品募集期間／2021年8月2日(月)～9月30日(木)

応募件数／279件

一次選考／愛知淑徳大学の学生により入選20作品を選考

最終選考／入選作品から金賞1件、銀賞2件、佳作2件の計5件の入賞作品を選考

選考委員…中村 航、太田忠司、中村陽子

入賞作品／金賞：霜月彩華「未来の会話」

銀賞：もりくりす「幻のアゲハ」、しば福「鶴舞公園、いいとこだよな」

佳作：さくら木洋介「金時計の怪鳥」、水玉猫「待ち人來たらず」

コトノハなごやサロン-online

入賞作品の発表・授賞式と選考委員による入選20作品の公開講評トークをウェブ上で開催。

日程／2022年1月15日(土)

視聴回数／131回

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図った。

(1) 文化情報誌の発行（補助金事業 決算額 2,113,437円）

「なごや文化情報」（12ページ）を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供した。

発行部数／1回につき8,000部

発行回数／4回（季刊）

(2) 文化情報ひろばの運営（補助金事業 決算額 6,524,940円）

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の見聞コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営した。

チラシ配架数／2,639件

図書数／ダンスマガジンはじめ約3,000冊

(3) 文芸作品アーカイブ事業（自主財源事業 決算額 2,264,577円）

名古屋地域の文芸作品のアーカイブとして市民文芸祭作品集の合本と、70年に渡り開催してきた名古屋短詩型文学祭の集大成の記念誌を作成し、貴重な資料として保存、活用した。

- 1 名古屋市民文芸祭作品集合本の作成
平成14年度から実施してきた名古屋市民文芸祭の作品集をまとめた合本を作成した。
- 2 名古屋短詩型文学のあゆみ70年史の作成・配付
令和元年度で70回の開催となった名古屋短詩型文学祭の優秀作品や事業の軌跡をまとめた70年史を作成し、アーカイブとして市内図書館等に配付した。
発行部数／300部
配布先／名古屋市立図書館、県内大学図書館、県内文学館等

4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を活かした文化事業を行った。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行った。

※港文化小劇場は、2021年4月1日から12月28日まで天井脱落対策工事のため休館。

※緑文化小劇場と東文化小劇場は2021年4月1日から2022年3月31日まで天井脱落対策工事のため休館。

(2) 施設事業

上記の23施設において年度当初に407事業を計画し、新規を含め428事業を企画した。うち89事業を中止して339事業を実施した。

主な事業

1 ナゴヤワークショップフェスタ2021「ポッシブル！+ONLINE」

音楽、演劇、伝統芸能、ものづくりなど多彩なワークショップの祭典を開催した。

日程／2021年8月3日（火）～9日（月・祝） 講座数／37講座

2 未来の鑑賞者育成事業

公益還元事業として、市内の小学4年生に劇場で生のクラシック音楽に触れていただくコンサートを実施した。

公演数／20公演 参加校／32校

3 劇場パートナーの運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営した。

中村文化小劇場 劇団 座・なかむら（演劇）

南文化小劇場 みなみシニア吹奏楽団（吹奏楽）

西文化小劇場 西文化小劇場オペラ合唱団（オペラ）

港文化小劇場 みんなとみなとコーラス（合唱）

天白文化小劇場 劇団 天白月夜（演劇）

名東文化小劇場 めいとうママ楽団オハナ（吹奏楽）

名東文化朗読舎（朗読）

守山文化小劇場 もりっこ彩合唱団（合唱）

北文化小劇場 The Polar Star Jazz Orchestra（音楽）

緑文化小劇場 劇団みどり（演劇）

千種文化小劇場 Chikusa Round Voice（ゴスペル）

中川文化小劇場 合唱団クローバー（合唱）

瑞穂文化小劇場 子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ（オペラ）

昭和 culture 小劇場 子どもミュージカル劇団 show-Wa!（ミュージカル）

名古屋昭和交響楽団（オーケストラ）

4 スマイルギフト

文化芸術の力を活用して地域の課題を解決することを目的として、ひとり親家庭など経済的支援を必要としている子どもたちを劇場に招待し、公演鑑賞の機会をプレゼントした。

会場／芸術創造センター始め14施設

参加対象／ひとり親家庭の親子、支援施設の子ども達

連携先／母子生活支援施設、児童養護施設、乳児院等

招待枚数／487枚

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。